

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進														
主要課題5 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進														
事業番号	40	事業名	教職員への的確な研修の実施		所管課	指導室								
事業の概要	固定的な男女役割分担意識にとらわれず、男女平等の意識をもって子どもへの指導に当たることができるよう、教職員に対し、経験年数や職に応じた研修を実施します。													
◆令和6年度振り返り-取組実績(DO)														
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績														
●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか						<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ								
1 人権教育の充実 学校において、教育活動全体を通じて組織的・計画的に人権教育を推進した。また、人権教育推進委員会において、男女共同参画の推進に向けた研修を実施した。														
2 教職員による不適切な指導及び体罰の防止への啓発 児童・生徒への指導について、児童・生徒への理解を軸とした指導に当たれるよう、校長会や副校長会を通じて指導することができた。														
◆令和6年度振り返り-評価(CHECK)														
指標でみる達成状況														
評価指標	学校、家庭、地域それぞれの場において男女平等と感じている市民の割合													
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値								
【学校】60.7% 【家庭】37.8% 【地域】50.7%	【学校】66.1% 【家庭】40.0% 【地域】53.2%	【学校】66.6% 【家庭】37.9% 【地域】52.8%	【学校】64.5% 【家庭】39.8% 【地域】53.2%			【学校】70.0% 【家庭】50.0% 【地域】60.0%								
◆今後の方向性(課題及び取組の方向) (ACTION)														
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小													
今後の取組の方向	学校における人権教育の充実に向け、学校に関わる全ての教職員への研修等の充実を図り、男女共同参画の推進に向けた取組を実施する。													
△														
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和6年度の取組及び今後の方向性)														
評価	A	評価理由	校長会や副校長会、4級職研修、若手教員研修等で必要な情報を伝達することで、校内における人権意識の醸成につなげることができた。また、人権教育推進委員会、生活指導主任会等の充実を図り、教職員の資質・能力の向上につながった。											

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進															
主要課題5 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進															
事業番号	42	事業名	家庭における男女共同参画の促進	所管課	健康推進課										
事業の概要	社会教育情報紙や、父母・これから子育てを始める方を対象とした講座、市立小・中学校PTA主催の家庭教育セミナー等を通じて、家庭や地域における男女共同参画意識の啓発につながる情報を提供します。														
◆令和6年度振り返り-取組実績(DO)															
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績															
●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか						<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ									
<p>ゆりかご調布面接やもうすぐママパパ教室(母親学級)、赤ちゃん訪問等において、パートナーの状況を確認しながら、母親の産後の身体の変化と夫婦や家族の協力の必要性について情報提供した。</p>															
◆令和6年度振り返り-評価(CHECK)															
指標でみる達成状況															
評価指標	学校、家庭、地域それぞれの場において男女平等と感じている市民の割合														
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値									
【学校】60.7% 【家庭】37.8% 【地域】50.7%	【学校】66.1% 【家庭】40.0% 【地域】53.2%	【学校】66.6% 【家庭】37.9% 【地域】52.8%	【学校】64.5% 【家庭】39.8% 【地域】53.2%			【学校】70.0% 【家庭】50.0% 【地域】60.0%									
◆今後の方向性(課題及び取組の方向) (ACTION)															
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小												
今後の取組の方向	引き続き、家事や子育てに妊娠期から男性が積極的に参加できるよう、具体的には方法を提案していく。														
△															
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和6年度の取組及び今後の方向性)															
評価	A	評価理由	妊娠期から子育てへの父親の参加の意識が高くなることから、今後も、意識して具体的な協力の方法を提案していく。												

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進										
主要課題5 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進										
事業番号	42	事業名	家庭における男女共同参画の促進	所管課	社会教育課					
事業の概要	社会教育情報紙や、父母・これから子育てを始める方を対象とした講座、市立小・中学校PTA主催の家庭教育セミナー等を通じて、家庭や地域における男女共同参画意識の啓発につながる情報を提供します。									
◆令和6年度振り返り-取組実績(DO)										
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績										
●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか					<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ					
<p>社会教育情報紙「コラボ」を年3回発行し、市内小・中学校や市施設に配布するとともに、市ホームページに掲載するなど、社会教育・家庭教育に関する情報提供に努めた。</p> <p>【発行部数】各号20, 200部</p> <p>市立小・中学校PTAの企画・運営による「家庭教育セミナー」について、情報提供や積極的な事業実施を働きかけ、多様化する社会問題に対応した家庭教育支援を図った。講師謝礼及び手話通訳委託料を助成した。オンライン及び会場とオンライン併用による開催も可とした。</p> <p>【実施校】調布市立小・中学校 4校</p> <p>【参加者数】 156人</p>										
◆令和6年度振り返り-評価(CHECK)										
指標でみる達成状況										
評価指標	学校、家庭、地域それぞれの場において男女平等と感じている市民の割合									
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値				
【学校】60.7% 【家庭】37.8% 【地域】50.7%	【学校】66.1% 【家庭】40.0% 【地域】53.2%	【学校】66.6% 【家庭】37.9% 【地域】52.8%	【学校】64.5% 【家庭】39.8% 【地域】53.2%			【学校】70.0% 【家庭】50.0% 【地域】60.0%				
◆今後の方向性(課題及び取組の方向) (ACTION)										
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小							
今後の取組の方向	<p>【社会教育情報紙】 引き続き、家庭教育についてのコラム等の掲載を通して情報提供をしていく。</p> <p>【家庭教育セミナー】 引き続き、開催テーマや内容について、助言や情報提供を行うとともに、オンラインを活用した事業実施について支援する。</p> <p>謝礼等の開催費用を各PTAにおいて管理できるよう、家庭教育セミナー事業運営を、各PTAを受託者とした教育委員会からの委託とする。</p>									
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和6年度の取組及び今後の方向性)										
評価	A	評価理由	<p>【社会教育情報紙】 家庭教育についてのコラム等の掲載により、現代的な課題について情報提供できた。</p> <p>【家庭教育セミナー】 参加対象者を開催校の保護者以外にも広げ、学習機会の拡大を図った。 開催方法についても引き続き主催者であるPTAが選択できるようにした。</p>							

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進																
主要課題5 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進																
事業番号	46	事業名	地域コミュニティにおける男女共同参画の促進		所管課	協働推進課										
事業の概要	男女がともに参画し、協力して地域のさまざまな活動を支えていくため、自治会・地区協議会等に女性の参画推進を働きかけます。															
◆令和6年度振り返り-取組実績(DO)																
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績																
<input checked="" type="checkbox"/> 基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか						<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ										
<p>・地区協議会の各種会議において、男女ともに地域の課題解決に努めるとともに、市民に地域活動への参加を呼びかけた。</p> <p>・現在、地区協議会の代表者に4人(18地区中)の女性が就くなど、女性参画が行われている。</p> <p>・地域活動情報紙「じよいなす」及び地域コミュニティサイト「ちよみっと」にて、自治会・地区協議会等、地域コミュニティの活動を紹介し、世代・性別問わず様々な市民に、地域コミュニティへの参画を促した。</p>																
◆令和6年度振り返り-評価(CHECK)																
指標でみる達成状況																
評価指標	学校、家庭、地域それぞれの場において男女平等と感じている市民の割合															
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値										
【学校】60.7% 【家庭】37.8% 【地域】50.7%	【学校】66.1% 【家庭】40.0% 【地域】53.2%	【学校】66.6% 【家庭】37.9% 【地域】52.8%	【学校】64.5% 【家庭】39.8% 【地域】53.2%			【学校】70.0% 【家庭】50.0% 【地域】60.0%										
◆今後の方向性(課題及び取組の方向) (ACTION)																
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 拡充														
今後の取組の方向	これまでの取組を継続し、今後も男女双方の意見を取り入れながら、地域の課題解決に努める。															
																
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和6年度の取組及び今後の方向性)																
評価	A	評価理由	男女の区別なく、市民が、行政・地域のまちづくりに参加できる環境づくりに努めることができた。 また、地区協議会において、男女双方の視点を取り入れながら、意識共有や交流を図ることができた。その結果として、女性が代表へ就任するといった女性の参画推進につながり、評価指標の目標値に近づけることができた。													

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進										
主要課題5 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進										
事業番号	47	事業名	男女共同参画の意識をもった人材の育成	所管課	総合防災安全課					
事業の概要	男性女性それぞれの視点を踏まえた避難所運営等がなされるよう防災訓練や研修、講座等で周知を図ります。									
◆令和6年度振り返り-取組実績(DO)										
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績										
●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか					<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ					
<p>「令和6年度調布市防災教育の日」において、市職員と地域の方々が協働で避難所開設訓練を実施した。多様な視点を取り入れるため、避難所担当職員の男女比を考慮して配置を行っている。訓練のなかで、避難者の導線や避難場所を定めた避難所利用計画に関して意見交換を行った。</p>										
◆令和6年度振り返り-評価(CHECK)										
指標でみる達成状況										
評価指標	学校、家庭、地域それぞれの場において男女平等と感じている市民の割合									
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度					
【学校】60.7% 【家庭】37.8% 【地域】50.7%	【学校】66.1% 【家庭】40.0% 【地域】53.2%	【学校】66.6% 【家庭】37.9% 【地域】52.8%	【学校】64.5% 【家庭】39.8% 【地域】53.2%		【学校】70.0% 【家庭】50.0% 【地域】60.0%					
◆今後の方向性(課題及び取組の方向) (ACTION)										
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小									
今後の取組の方向	現在は、避難所や福祉避難所の開設に関する訓練を実施しているところであるが、今後、習熟度が高まってきた際には、避難所運営に関する訓練の検討を行っていく。									
△										
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和6年度の取組及び今後の方向性)										
評価	A	評価理由	訓練のなかで、避難者の導線や避難場所を定めた避難所利用計画に関して地域の方々と意見交換を行うことができた。今後、避難所運営マニュアル等の見直しを行う際には、多様な視点を取り入れられるよう工夫を行う。							

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進															
主要課題5 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進															
事業番号	47	事業名	男女共同参画の意識をもった人材の育成	所管課	多様性社会・男女共同参画推進課										
事業の概要	男性女性それぞれの視点を踏まえた避難所運営等がなされるよう防災訓練や研修、講座等で周知を図ります。														
◆令和6年度振り返り-取組実績(DO)															
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績															
●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか						<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ									
<p>防災の備えとマンション、団地等での防災活動について、女性参加の重要性や性別役割分担意識の解消に向けて、「どうする？マンション・団地の防災～女性、より多くの人の参加がカギ！」としてグループワークを含む講座を実施した。</p>															
◆令和6年度振り返り-評価(CHECK)															
指標でみる達成状況															
評価指標	学校、家庭、地域それぞれの場において男女平等と感じている市民の割合														
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値									
【学校】60.7% 【家庭】37.8% 【地域】50.7%	【学校】66.1% 【家庭】40.0% 【地域】53.2%	【学校】66.6% 【家庭】37.9% 【地域】52.8%	【学校】64.5% 【家庭】39.8% 【地域】53.2%			【学校】70.0% 【家庭】50.0% 【地域】60.0%									
◆今後の方向性(課題及び取組の方向) (ACTION)															
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続	<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小												
今後の取組の方向	男性女性それぞれの視点を踏まえた避難所運営等がなされるよう、引き続き、講座等の実施を継続する。														
△															
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和6年度の取組及び今後の方向性)															
評価	A	評価理由	防災活動への女性参加の重要性や性別役割分担意識の解消に向けた講座を実施することで、防災について当事者意識の醸成を図るとともに、男女共同の視点をもって避難所運営等に当たることができる人材育成の一助とすることができた。												

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進														
主要課題5 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進														
事業番号	47	事業名	男女共同参画の意識をもった人材の育成		所管課	教育総務課								
事業の概要	男性女性それぞれの視点を踏まえた避難所運営等がなされるよう防災訓練や研修、講座等で周知を図ります。													
◆令和6年度振り返り-取組実績(DO)														
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績														
●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか						<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ								
<p>調布市では、毎年4月の第4土曜日を「調布市防災教育の日」と定め、東日本大震災を教訓として「命の尊さ」について学び、自助・共助意識を高め、災害時に必要な知識や行動様式を身につけるため、学校・保護者・地域の連携による防災教育と防災訓練を、調布市立小・中学校全28校一斉に実施している。</p> <p>学校教育活動では、令和元年度以来5年ぶりに保護者・地域の方向けに、学校教育活動の公開を実施し、小・中学校全校及び大町スポーツ施設において実施した市統一テーマ訓練においては、訓練テーマを「避難所開設訓練」と題し、令和元年台風19号の避難所開設時の課題を踏まえ、体育館・校舎等の開錠・施錠方法の確認や体育館における避難所の開設・受付訓練等、初動期における対応の習熟を目的に訓練を実施し、新規事業として小6児童・中3生徒及びその保護者を対象に「避難所体験」を実施した。</p>														
◆令和6年度振り返り-評価(CHECK)														
指標でみる達成状況														
評価指標	学校、家庭、地域それぞれの場において男女平等と感じている市民の割合													
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値								
【学校】60.7% 【家庭】37.8% 【地域】50.7%	【学校】66.1% 【家庭】40.0% 【地域】53.2%	【学校】66.6% 【家庭】37.9% 【地域】52.8%	【学校】64.5% 【家庭】39.8% 【地域】53.2%			【学校】70.0% 【家庭】50.0% 【地域】60.0%								
◆今後の方向性(課題及び取組の方向) (ACTION)														
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 繼続 <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小													
今後の取組の方向	災害時に女性や子どもの安全、プライバシーの保護、性別への配慮等に留意した避難所運営ができるよう、引き続き「調布市防災教育の日」の取組のなかで、適切な避難所開設・運営について確認をする。													
▼														
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和6年度の取組及び今後の方向性)														
評価	A	評価理由	地域の方と市職員が男女問わず訓練に参加し、訓練についての振り返り、意見交換を行うなかで、災害時に支援が必要となる、女性や子どもの安全、プライバシーの保護、性別への配慮等の重要性を認識することができた。											

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進																
主要課題6 生活上の困難に対する支援																
事業番号	11 (再)	事業名	女性のための相談事業の充実		所管課	多様性社会・男女共同参画推進課										
事業の概要	男女平等・共同参画推進の視点に立ち、生活上の困難（生活面での悩み、心・健康のこと、家庭における暴力の問題、仕事の悩みや再就職など）について、相談者自身が解決の糸口を見出せるよう相談事業の充実を図ります。															
◆令和6年度振り返り-取組実績(DO)																
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績																
●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか						<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ										
1 相談事業の実施	女性の就労や相談者が多様な生き方を選択できるよう、様々な女性のための相談事業を実施した。申込み方法として、オンライン予約を開始し、相談者の利便性向上につなげた。また、グループ相談として、ひとり親を対象としたもののほか、更年期や産後の女性の心身の悩み、再就職の悩み等同じ悩みを持つ方同士が相談や意見交換できる場を提供した。															
2 相談事業の充実	女性支援事業として、相談事業のチラシを同封した生理用品を希望者に配布するとともに、女性のための相談カードを各公共施設等へ配架して、相談支援につながるよう周知を図った。															
◆令和6年度振り返り-評価(CHECK)																
指標でみる達成状況																
評価指標	ひとり親家庭への生活・経済面の支援の市民満足度															
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値										
64.6%	66.0%	64.7%	66.0%			70.0%										
◆今後の方針(課題及び取組の方向) (ACTION)																
今後の方針	<input type="checkbox"/> 継続	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮小													
今後の取組の方向	相談体制の充実を図るとともに、各種相談事業へつなげていくために市内商業施設での相談案内の掲示やSNSでの周知など異なる情報発信に努めていく。															
△																
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和6年度の取組及び今後の方針)																
評価	A	評価理由	各種相談とともに、様々なテーマを設けたグループ相談などの相談事業を実施した。また、各種相談の申込み方法にオンライン予約を追加した。電話相談や夜間の時間帯に相談を実施するなど悩みを抱える方が相談しやすいよう工夫して実施した。チラシの配布や相談カードの配架などで相談事業の周知を図った。													

基本目標3 あらゆる分野・活動における男女共同参画の推進						
主要課題6 生活上の困難に対する支援						
事業番号	13 (再)	事業名	ひとり親家庭への支援の実施		所管課	子ども家庭課
事業の概要	ひとり親の状況に応じ、自立支援に向けた情報提供、関係機関との連絡調整等のひとり親相談事業を行います。					
◆令和6年度振り返り-取組実績(DO)						
「事業の概要」を踏まえ、意識して取り組んだ内容・取組実績						
●基本目標及び主要課題達成に向け、事業の概要を意識して取り組んだか					<input checked="" type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> いいえ
<ul style="list-style-type: none"> 母子・父子自立支援員が、ひとり親家庭の親等からの相談を受け、個々の状況に応じた支援を行った。 育児・家事等、生活上の困難を抱えるひとり親家庭にホームヘルパーを派遣した。 通信制高校卒業支援給付金の支給を通して学費の負担軽減、子供の将来の展望獲得を支援した。 非課税のひとり親家庭に対する市独自の給付金を支給し、物価高騰に対する経済的支援を行った。 						
◆令和6年度振り返り-評価(CHECK)						
指標でみる達成状況						
評価指標	ひとり親家庭への生活・経済面の支援の市民満足度					
基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	目標値
64.6%	66.0%	64.7%	66.0%			70.0%
◆今後の方向性(課題及び取組の方向) (ACTION)						
今後の方向	<input checked="" type="checkbox"/> 継続		<input type="checkbox"/> 拡充		<input type="checkbox"/> 縮小	
今後の取組の方向	ひとり親の状況に応じ、自立に向けた情報提供、関係機関との連絡調整等のひとり親相談事業を通じて、生活上の困難の解消につなげる。各種給付金事業の周知、支給を通じてひとり親家庭の生活の安定を図る。					
▼						
基本目標及び主要課題達成に向けての総合評価(令和6年度の取組及び今後の方向性)						
評価	A	評価理由	経済的に苦しい非課税世帯への市独自の給付金を支給したほか、個々の状況に合わせて社会資源や様々な情報を提供することで地域で孤立せずに生活ができるよう相談事業を実施した。子どもたちの生活環境の激変緩和のため、ホームヘルパーを派遣することで就労と育児の両立を支援し、親子ともに安心して生活できる環境を提供した。支援が必要な高校生の高校卒業資格取得を支え、自立を支援した。			